

課題になっている行動 (気になる行動)

整理されてない本棚
が気になって
勉強に集中できない



机の上の勉強よりも
整理されてない
本棚が気になって



監修・文 水野敦之 絵：宗貞由貴子

環境・状況の要因	本人の特性	本人の経験や気づきの影響
<input type="checkbox"/> 様々な状況の変化 ■ 影響を与える刺激や情報 整理されていない本棚が見える ■ 必要な支援がない 無視するための刺激の統制がされていない 整理して良い時間などが提示されていない <input type="checkbox"/> その他	■ 全体よりも細部に注目する特性：刺激・情報が無視できない ■ 時間の整理統合の困難さ：いつ整理すればいいかの見通しが持ちにくく (■ 空間の整理統合の困難さ) ■ 変化の対応の特性：整然としたものを保持しようとする ■ 感覚の特異性：視覚刺激の影響	■ 習慣になっているものがある 物の位置などを整然と保持する ■ 自分流の気づき・考え方もつ 見えているものを優先してしまう <input type="checkbox"/> 過去に経験したこと学んだこと <input type="checkbox"/> 過去に経験したことにより恐怖や嫌悪感をもっていること
■ 行動前の状況※ 授業中で (通常学級)。横の本棚の本が乱れている 本棚の係でもない。本棚の整理の時間は提示されていない。		■ 行動後の状況・結果※ 先生が、教科書を指さして注意喚起はしている。数回、「今は授業に集中しなさい」と指示を受ける。 注意喚起した時や指示された時にはしばらく注目するが、すぐ注目できなくなる。

活用できる他の資源	活用できる本人のスキル	活用できる本人の気づき
視覚的なスケジュールを活用している。 クラスの役割で本棚係がある	本棚の整理の仕方は理解できている (自己流ではある)	事前に予告をされれば、見通しを持って行動できる

支援計画 ※支援の具体的な計画は自立課題シートで整理する方法もあります		
環境を変える部分は？	本人の特性にあわせた支援は？	本人に伝える・教える部分は？
・本棚の位置を工夫したり、カーテンをつけて隠したりする。 ・クラス全体の状態での本棚の整理された状況が続くような全体の手立て、指示、ルール提示を行う。	・本棚の位置、本人の席などを工夫する。 ・必要に応じてカーテンを設置する。 ・本棚を整理して良い時間を提示する。本棚の役割を任せる。	・本棚を整理する役割、整理して良い時間などを解説する。 ・スケジュールに本棚整理の時間を設定して伝える。 ・自分流ではなく、クラスのルールで整理する指示を入れて整理の仕方を伝える。

※書籍『フレームワークを活用した自閉症支援』(104~105頁)を参考に記入してください。 検索"自閉症 フレームワーク"